

楽しく親業 NO5

桜丘中学校 H28.10.7

家庭教育学級担当 神山 里佳

■9月30日（金）に行われた「桜コミュニティ」で

日本ほめる達人協会 認定講師 高橋恵美さん <http://www.hometatsu.jp/>

を講師にお迎えして、テーマ「今、知っておきたいほめ効果～心の視野を広げよう～」に沿って、次のようなお話を聞き、それを実感できるようなグループワークを行いました。

★ほめる達人協会が言う「ほめる」とは

- 自分の周りの「人」「もの」「出来事」の価値を発見して伝えること
- 「叱らない」ということではない
- ほめることを「人のコントロール」に使わない

★ほめる達人協会が言う「ほめる達人」とは

- 口癖は「すごい」「さすが」「すばらしい」 残念な時には「おいしい」
- すべての出来事は「必要」「必然」「ベスト」と考える

◆ワーク（2）「これは何のチャンスでしょうか」

急に成績が落ちた→（例）勉強方法を見直す・最近の学校の様子を子どもから聞く

- すべての人の可能性と成長を信じる

◆ワーク（1）「短所だと思えることを長所に言い換えてみよう

気が短い→（例）何に対しても熱い

◆ワーク（3）「あなたの身近な人の素晴らしい点を探して、エピソードを通じて紹介しましょう」（ほめる人も聞いている人も自然に笑顔になります）

いっしょにグループワークを行った保護者の方が、ワーク（3）で「土日仕事もあり、娘たちとすれ違いのことが多いのですが、私の誕生日に（サプライズで）姉妹で餃子をつくって用意して待っていてくれました」というエピソードを話されました。何と温かいエピソードでしょう。聞いていて、こちらも笑顔になりました。距離が近い人をほめるのは照れくさいのですが、普段の思いを伝えるのも大事だと思いました。

■桜ノート（桜丘中オリジナル自主学習ノート）を活用して、自主学習を進めている生徒がたくさんいます。

桜ノート3冊終了すると、校長が「志賞」を出しています。今のところ、のべ7人の生徒が受賞しています。夏休み以降もコツコツと自主学習を進めてきた証です。

「志賞」を受賞した1年生の生徒にインタビューをしました。

T「毎日、どのくらい家庭学習をしているの？」

S「宿題を含めて1～2時間くらいです」

T「どんな勉強をしているの？」

S「数学だったら、授業を思い出しながら、教科書の数学用語や性質をまとめるとか、問題を解くとか、ワークをやります。」

T「自主学習で成果がでたなあと思うことは何ですか？」

S「国語テストの点数が伸びました。ワークの問題をノートに繰り返し解いたので、わかることが増えました。」

家庭学習として、身近にあるものでできることとしては、「教科書を使って要点を整理する」「教科書の問題を解く」「ワークや基礎基本問題集を繰り返し解く」などです。桜ノートを活用し、家庭学習が進むよう、ご家庭でも指導をお願いします。